

事業番号	09 04 42	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水産試験場試験研究費			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	S56 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

### 1 事業の概要

目指す姿	長野県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業においては良好な水産環境の保全技術及び水産資源増殖技術の開発、養殖業においては魅力ある養殖品種の開発及び魚病対策技術開発を目指す。																																						
現状 (予算編成時)	○県内河川湖沼漁場において、コイのヘルペスウイルス病やアユの冷水病等の魚病が発生し、また、ブラックバスなど外来魚による在来魚の生息環境の悪化がみられる。 ○養殖業において、新たな養殖品種の普及及び信州サーモンの品質向上が求められている。																																						
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)		【左記の説明、根拠法令等】 持続的養殖生産確保法に基づく特定疾病の確定診断。地域課題解決に向けた試験研究開発は県で実施する必要がある。																																				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)																																						
	水産資源の増殖及び養殖業の生産性向上に関する試験研究を進捗させる。 ・研究目標達成率 17%(18研究テーマのうち3テーマを完成させる)																																						
	② 事業内容 (単位:千円)																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H28事業実績</th> <th colspan="2">H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>増養殖技術の改良・確立</td> <td>直接</td> <td>・アユの疾病対策 ・河川漁場の増殖管理手法開発 ・特定疾病対策研究</td> <td>7,132</td> <td>7,099</td> <td>6,635</td> </tr> <tr> <td>市場性の高い品種の開発</td> <td>直接</td> <td>・マス類の品種改良 ・マス類の高品質生産技術開発</td> <td>2,606</td> <td>2,594</td> <td>2,606</td> </tr> <tr> <td>水産環境の保全</td> <td>直接</td> <td>・外来魚駆除技術開発 ・湖沼の水産資源増殖技術開発</td> <td>1,629</td> <td>1,622</td> <td>1,827</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>11,367</td> <td>11,315</td> <td>11,068</td> </tr> </tbody> </table>							項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29	(当初)	(決算)	(当初)	増養殖技術の改良・確立	直接	・アユの疾病対策 ・河川漁場の増殖管理手法開発 ・特定疾病対策研究	7,132	7,099	6,635	市場性の高い品種の開発	直接	・マス類の品種改良 ・マス類の高品質生産技術開発	2,606	2,594	2,606	水産環境の保全	直接	・外来魚駆除技術開発 ・湖沼の水産資源増殖技術開発	1,629	1,622	1,827	合計			11,367	11,315
項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29																																		
			(当初)	(決算)	(当初)																																		
増養殖技術の改良・確立	直接	・アユの疾病対策 ・河川漁場の増殖管理手法開発 ・特定疾病対策研究	7,132	7,099	6,635																																		
市場性の高い品種の開発	直接	・マス類の品種改良 ・マス類の高品質生産技術開発	2,606	2,594	2,606																																		
水産環境の保全	直接	・外来魚駆除技術開発 ・湖沼の水産資源増殖技術開発	1,629	1,622	1,827																																		
合計			11,367	11,315	11,068																																		
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	成果目標の達成状況																																		
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標																											
		当初予算	8,037	11,367	11,068				目標	成果	達成状況																												
		補正予算																																					
		合計(A)	8,037	11,367	11,068																																		
	Aの財源	一般財源	2,732	3,930	2,699	研究目標達成率	13%	11%	17%	28%	達成	-																											
		県債				信州ブランド魚生産量	-	345t	-	376.4t	-	377t																											
		国庫支出金	1,132	2,855	1,707																																		
		その他	4,173	4,582	6,662																																		
	決算額(B)		7,877	11,315																																			
概算人件費	職員数(人)	8.50	8.50	8.50																																			
	概算人件費(C)	70,346	67,269	67,269																																			
概算事業費(B(A)+C)		78,223	78,584	78,337																																			
目標に対する成果の状況	養殖技術の改良・確立、市場性の高い品種の開発、河川湖沼の増殖技術開発等について計画的に事業を実施し、18研究テーマのうち5つを完成させた。(普及移行したテーマ、アユ疾病対策:無病種苗放流のための保菌検査、特定疾病対策研究:コイヘルペスウイルス病の検査・防疫指導、レッドマウス病の検査・防疫指導、マス類の品種改良:育種素材の開発、保存、マス類の高品質生産技術開発:三倍体イワナの品質高位安定化技術開発)																																						

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 県内水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼漁業及び養殖業に関する技術開発に必要な新たな知見の取得を推進する。
--------------------	---